令和８年度　学校評価自己評価表（川地小学校）

中期経営目標		短期経営目標	達成目標	取組・方策
【確かな学力】	基礎学力の定着とそれを基盤にした思考力・判断力・表現力の育成を図る。	協働的・主体的に学習に取り組む態度を育成する。	・協働的・主体的な学びについてのふり返りアンケートを学期に1回行い，肯定的に回答している児童を増やす。	・児童一人一人が課題を解決できるようにペア，グループでの活動や全体交流などの「かかわり合う」授業を仕組む。 ・「わくわくいっぱい」の授業を行い，児童の「もっとやってみたい」という思いを引き出し，目的をもって自主学習に取り組ませる。
		自分の考えや思いを、適切な言葉を用いて表現する力を育成する。（表現・判断）	・単元末テストにおいて，思考・判断・表現の項目の正答率を７０％以上にする。 ・「評価問題」の正答率を80％以上にする。	・かくぞう朝会や各教科の学習で自分の考えを書く機会を確保し，書くことに慣れ親しませる。また，語彙シートを活用し学習用語を使って書く力や条件に合わせて書く力を高めていく。 ・「ちからをつける」授業を意識し，数学的な見方・考え方を働かせて問題解決をする姿を評価していく。
【豊かな心と健やかな体】	共感しあい、主体的にたくましく生きる児童の育成を図る。	「協働性」「主体性」を意識し、高めようとする児童を育成する。	・「６つのきまり」の５項目「友だちを大切にします」「あいさつ返事をきちんとします」「掃除を一生懸命します」「人の話をしっかり聞きます」「時間を守って行動します」についての児童アンケートで、それぞれの項目の達成率の平均を80％以上にする。	・毎月の生活目標を「6つのきまり」と関連付けて設定する。 ・掃除で、ふり返りを通して友だちと協力して取り組むことを意識させたり、掲示の活用を通して友だちのがんばりを認め合わせたりする。 ・委員会活動を中心に、自治活動を展開させる。 ・縦割り班活動や複式学級での学習、学習の成果を披露しあうなどの異学年交流の機会をもつ。
		自分の心や身体に関心をもち、健康づくりに取り組む児童を育成する。	・「６つのきまり」の「健康・安全に気をつけます」についての児童アンケートで肯定的評価をしている児童を80％以上にする。	・3快チャレンジ、メディアコントロール、スクールランチパーフェクト大作戦等の食育指導を通して、健やかな体づくりへの意欲を高める。 ・新体力テストで昨年度の課題改善に向けて全校で統一した取組や、一人一人に目標をもたせる取組を行う。
【信頼される学校】	保護者・地域から信頼され愛される学校をつくる。	保護者・地域の学校に対する満足度の向上を図る。	・保護者アンケート（年 2 回）で学校への満足度を90％以上にする。 ・各種たより、HP 更新を月1回以上行う。 ・小中・小小・保小・地域と連携した取組を学期に1回以上行う。	・学校だよりや学級通信、HP 等を通して、学校・学級の「わくわく」感を高める取組・様子が保護者の方・地域の方等に伝わるように情報発信する。 ・川地保育所との交流活動、青河小学校・川地中学校とのリモート授業・児童会生徒会交流、川地中学校区全体での共同活動など、具体的な取組を積極的に取り入れ、教育活動の質の向上やスムーズな接続を図る。 ・CS2年目として、地域の方に積極的に来校・参加していただく場を設定し、教育活動の質の向上を図る。
		教職員の授業力と組織力の向上を図る。	・教職員アンケート(年 2 回以上)で肯定的評価している職員を 80％以上にする。(授業改善、情報共有し組織として機能、学校経営に参画、分掌の協力。)	・各種研修会に参加し、学んだことを校内へ還流する。 ・授業研究において、つけさせたい力を明確にした研修を行い、授業力向上を図る。 ・分掌部会においてそれぞれの役割を自覚するとともに、全教職員で協力しながら組織的に業務を進める。